

# とちぎ米産地だより【7月号】

<24年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第4号 平成24年7月9日

発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

## 1. とちぎ米生長日記

### ●県内の田植進捗状況について(6/28栃木県庁発表)

早植え、普通植えともに田植が終了し、ほぼ前年並みの進捗状況です。

### ●県内の水稲生育概況(6/22栃木県農業試験場発表)

- ・草丈はやや低い。
- ・茎数は少なく、葉色はやや淡く、生育量は小さい。
- ・出穂期は平年より1～2日程度早い見込み。
- ・生育遅速は平年並み。

●**今後は定期的な間断かん水により、茎を太くしっかりとした稲作りに努めます。**



県北地区コシヒカリ 平成24年6月29日(金)撮影

## 2. 栃木県のイベント情報

### 山あげ祭

国指定重要無形民俗文化財

開催日:平成24年7月27～29日

場所:那須烏山市内(旧烏山市街地)

今から450年前、永禄3年(1560年)に当時疫病が大流行し、時の烏山城主那須資胤(なすすけたね)がこの災厄を避けるため、牛頭天王(ごずてんのう)を八雲神社(やくもじんじゃ)にお祀りしました。

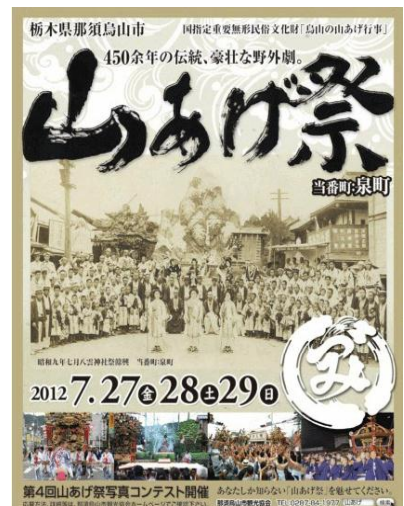
その祭礼には、当初奉納余興として、相撲や神楽獅子等が行われていましたが、やがて常磐津所作の「山あげ」が行われるようになり、今日のような全国でも類を見ない絢爛豪華な野外歌舞伎になりました。

この「山あげ」は、6町内が年番で行っており、毎年7月の第4土曜日を含む金・土・日の3日間開催されます。

山は所作狂言(おどり)の背景で、観客の前に据えられた舞台から道路上約100mの間に大山・中山(滝山)・前山・館・橋・波など遠近よく配置され、若衆の糸乱れぬ団体行動のなか、見事に山があげられます。

そして、常磐津の三味線にのって町の踊り娘たちが美しい舞を披露する、日本一を誇る野外劇です！

裏面で紹介しているJAなす南管内で開催されるお祭りです。是非、お立寄りください！



### 3. 産地紹介 ～栃木県内のJAを紹介します！～

## JAなす南

自然がいっぱい！なす南



JAなす南は、平成11年3月に南那須管内の3JA(那須南・ばとう・那須小川町)が合併し、設立されました。

管内は栃木県の北東に位置し、那須烏山市、那珂川町の1市1町管内をエリアに、北部は大田原市、南部は芳賀地区、西部はさくら市、東部は茨城県奥久慈地域と隣接しています。中央を貫流する那珂川を境に東は八溝山系の山間地帯、西は関東平野から連なる田園と丘陵地帯が広がる自然豊かな地域です。

「JAなす南のコシヒカリ」は統一ブランドとして県内外で販売され、食味の良さで好評を得ています。さらには野菜、花卉の特産物も多く、食の安心・安全をモットーに生産者が一丸となって生産に力を注いでおります。

管内の特産野菜の1つには「中山かぼちゃ」があります。何といてもきめ細かな質感とホクホクとした食感が魅力です。さらに、一般的なかぼちゃに比べて皮が薄く、口当たりの良さも抜群なので、小さなお子様やお年寄りの方にも喜んで食べていただけます。出荷時期は7月下旬～8月下旬です。

日本では珍しい洋野菜部会で栽培されている「からすだいこん」も特産です。ヨーロッパ原産の黒だいこんで、那須烏山の地名とカラスのような黒い見た目からその名が付けました。生で食べると辛味は強いですが、加熱することで甘みが増します。



中山かぼちゃ

これら地元でとれた農産物を地域のみなさんにも提供するため、管内のスーパーマーケット内にインショップ(店内直売所)を展開しております。インショップでは、地元のプロducersの方々のご協力により、新鮮で旬の野菜を豊富に取り揃えて販売しております。商品には生産者・生産町名が掲示されており、安心して野菜を選ぶことができます。



からすだいこん

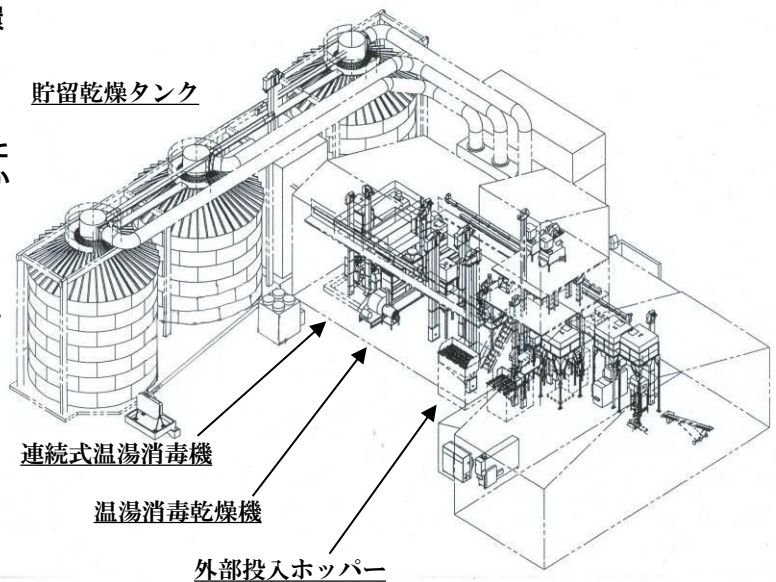
## 温湯種子消毒施設について

JAなす南では、「環境にやさしい米作り」の一環として、温湯消毒種子を利用した安心・安全なお米の生産に取り組んでいます。

消費者が求める安全・安心の米づくりを進めるために、温湯消毒による種もみの消毒で種子段階から農薬成分を2成分削減し、従来の慣行栽培よりも農薬使用を抑えた米づくりを推進しています。

このように、JAなす南では、平成23年産から生産者が使用するコシヒカリ、なすひかり、あさひの夢の種子について、全量温湯消毒による種子消毒を行ない、他の産地に比べ独自の特色ある産地づくりを目指しています。

農薬使用を抑えることにより、安心・安全なお米の生産だけでなく、農薬廃液の発生を抑え、地球環境に配慮した「環境保全型農業」にも力を入れています。



※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。  
JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037